

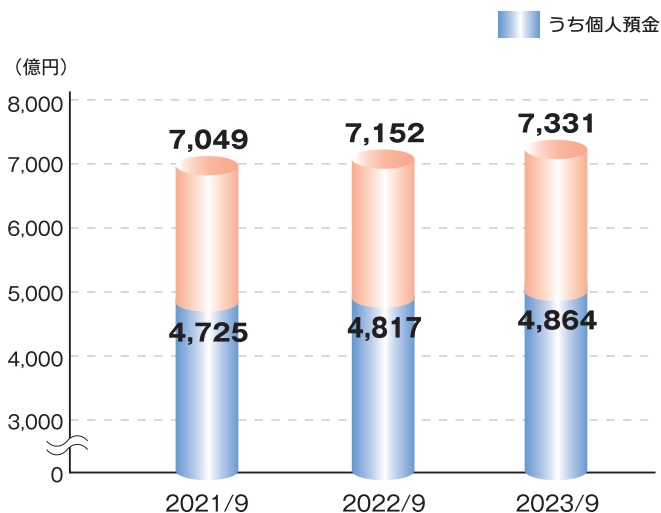
2 業績ハイライト（単体）

2023年度 中間期決算概要

■預金残高

～年間増加率2.5%～

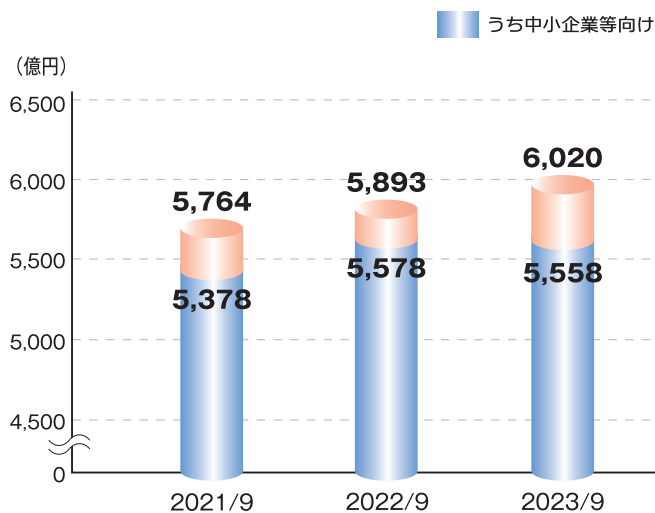
店頭・店周営業の着実な実践によって、個々のニーズやライフステージに応じた商品・サービスの提供に努めたこと等により、預金残高は前年同期末比179億円2.5%増加の7,331億円となりました。



■貸出金残高

～年間増加率2.1%～

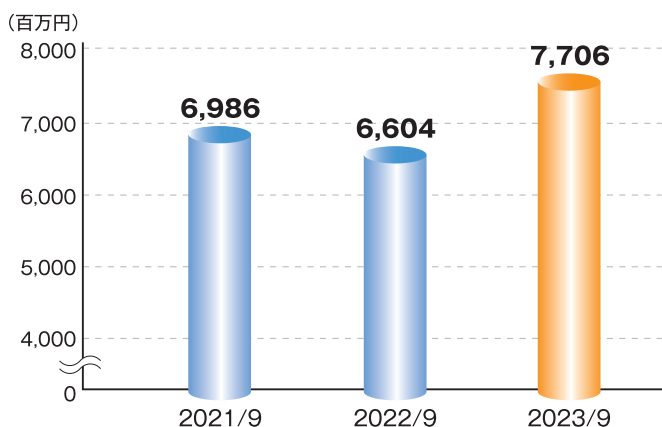
定期的な顧客訪問によって金融仲介機能の発揮に努め、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたお客様への継続的な金融支援等により、貸出金残高は前年同期末比126億円2.1%増加の6,020億円となりました。



■経常収益

～2年振りの増収～

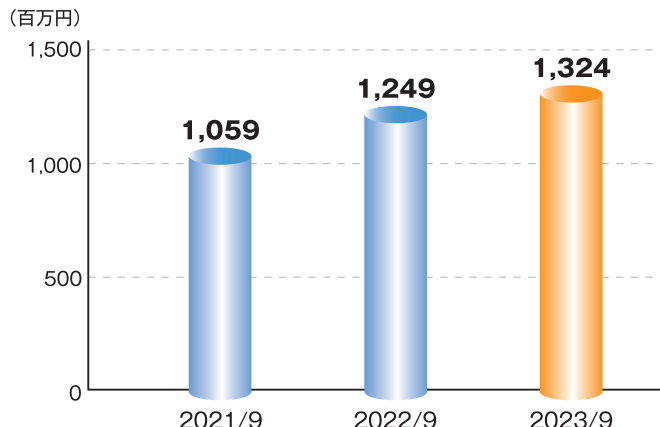
貸出金利息、役務取引等収益が増加するなど本業が堅調に推移したこと等により、経常収益は前年同期比11億2百万円16.6%増収の77億6百万円となりました。



■中間純利益

～3年連続の増益～

与信費用等が増加したものの、本業が堅調に推移したこと等により、中間純利益は前年同期比75百万円6.0%増益の13億24百万円となりました。



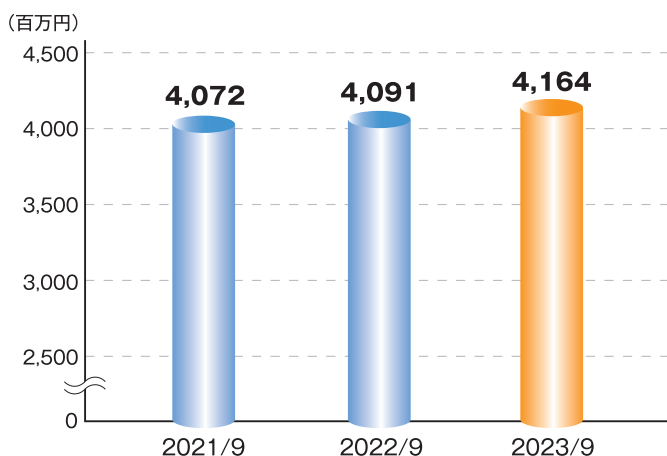
2 業績ハイライト（単体）

2023年度 中間期決算概要

■ 預貸金利益（貸出金利息－預金利息）

～5年連続の増益～

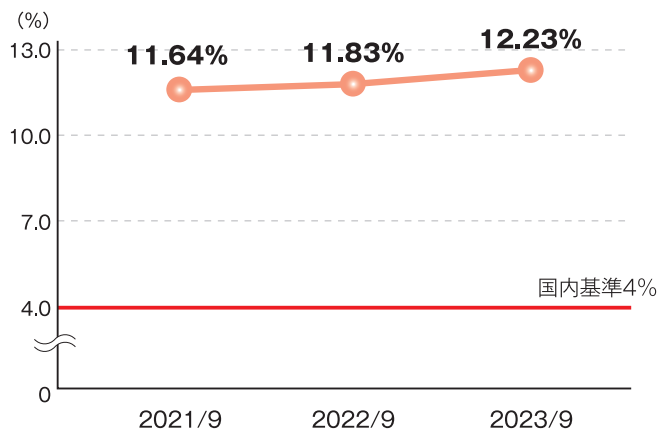
貸出金残高の着実な増加によって、貸出金利息が5年連続で増加したこと等により、預貸金利益は前年同期比73百万円1.7%増益の41億64百万円となりました。



■ 自己資本比率（国内基準）

～高水準の自己資本比率を堅持～

自己資本比率は12.23%と国内基準の4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。



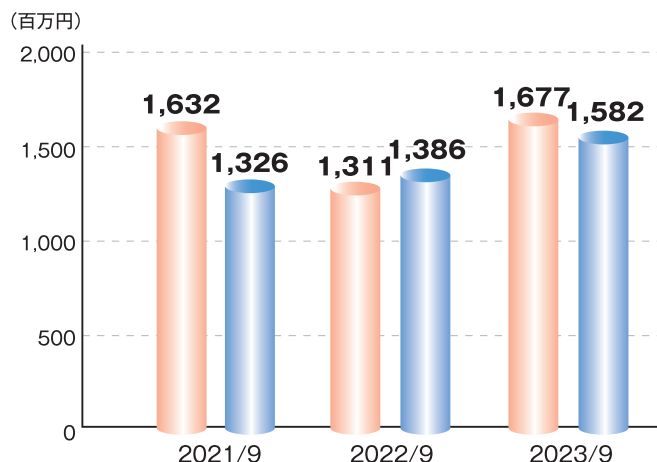
■ コア業務純益

～本業利益は着実に増加～

預貸金利益、役務取引等利益が増加したこと等により、本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は15億82百万円と堅調に推移しております。

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

■ コア業務純益 ■ コア業務純益(除く投資信託解約損益)



■ 不良債権の状況

～1%台 高い健全性を維持～

金融再生法開示債権およびリスク管理債権は98億38百万円となり、総与信残高に占める割合は1.62%となりました。なお、同債権の90.29%を担保等でカバーしております。

■ 破産更生債権 ■ 危険債権 ■ 要管理債権 ● 不良債権比率

